

瀬戸市議会議員  
いまむかし



令和元年11月1日号 編集／発行 瀬戸市議会

# せと Seto City Council 市議会だより

No.86  
令和元年  
**9**月  
定例会

## 注目

P2～3  
特集 平成 30 年度決算審査の内容報告  
決算審査を踏まえて、市長へ提言書を提出  
P10  
せとまちトーク開催のお知らせ



昭和8年当時の市議会第2期の議員と議会関係者の写真です。  
(写真はフォトスタジオ伊里様からご提供いただきました。)



# 特集 平成30年度決算審査の内容報告

Q: 市議の質問  
A: 市の回答

9月定例会の予算決算委員会で行われる決算審査は、前年度に皆さんの税金がどのように使われたか、無駄は無かったか、効果はどうであったかなどを審査し、翌年度の予算編成に反映させる重要なものです。議員全員により慎重に審査した結果、すべての決算について認定しました。また、審査の際、議員から出された意見をもとに市長へ提言書を提出しました。

## 総務生活分科会

ふるさと納税について

Q ふるさと納税で他市に寄附された金額、また一方で瀬戸市への寄附もあるが、総合すると結局瀬戸市としてはどのような結果であったのか。

A ふるさと納税制度に係る収支は、約2,700万円のマイナスとなった。

Q 返礼品などを工夫し、瀬戸の魅力をPRすべきではないか。

A そのように検討していきたいと考える。

旧産業技術総合研究所瀬戸サイトの活用について

Q まちづくりにおいて民間資本を導入し、施設の建設と併せて運営についても民間事業者が実施する手法について、平成30年度に調査をした結果はどのような内容か。

A 行政が建設、運営をすれば15年間で約44億円かかるが、民間の資本の導入により約15%の財政負担の軽減が図られるという試算結果となった。

Q どのような施設の機能となるのか。

A 産業振興及び産業支援などの機能を想定している。

(左写真：旧瀬戸サイト)

## 厚生文教分科会

老人憩いの家について

Q 委託料としての2,000万円に加え、経年劣化に伴う修繕も必要で、利用者が減少している状況をどのように捉えているのか。

A 昭和49年に開設し、かなりの年月がたっている。老朽化に伴い修繕費用や立地条件など考え、今後、要支援や要介護の方を含めた利用の見直しが必要と考えている。

家庭児童相談室運営について

Q 成果報告書に、本市の児童虐待件数が新規で175件、県の児童相談所に受付件数が115件であり、他市と比べて大変多いとある。今後、どのような課題と対応を考えているのか。

A 虐待件数は増加傾向で、中でも身体的虐待が増加しているが、本人や学校からの通報で早期発見が促進されたことは評価できる。今後、体制強化を進めていく。

休日保育について

Q 利用者数が計画値より3倍程増加している。負担額が平成29年度より引き下げられたことが大きな要因と思うが、十分な対応ができたのか。

A 定員を超える利用はなかったため対応はできているが、引き続きニーズを見ながら運営していきたい。

見守りシステムについて

Q 児童の登下校についての見守りシステム調査委託500万円が計上されていたが、どのように使われたのか。

A 幡山中学校区でICタグを付けて平成30年9月より実証した。平成30年12月に保護者にアンケート調査をしたところ121名から回答があり、登下校の時間が確認できたなど好評であった。にじの丘学園でも使用の検討をしていきたいと考えている。

(左写真：ICタグ)

## 都市活力分科会

アグリカルチャー推進について

Q 6次産業化を進めている中で、豚コレラが発症したが、イノシシの状況は現在どうなっているのか。また、現在の豚はすべて処分されたが、今後の事業はどうなるのか。

A イノシシの捕獲頭数は今年6月末現在16頭。前年同期の69頭に比べるとかなり減っているが、他市でも同様の状況であり、死んだイノシシの回収も増えている。6次産業の部分では、冷凍してストックしているせと豚が残っているが、今後は代替豚での開発を進めていく。

ソフトウェア企業誘致補助金について

Q これまでのような大規模な造成を伴う企業誘致ではなく、空き店舗や空きビルの活用ができる新しい形の誘致であり、今後も可能性があるかと思うがどうか。

A 新しい挑戦だったが、20名~30名で今年稼働した企業から、すでに増床の希望があり、瀬戸市においてもこのようなIT企業が存在し発展できると実証ができた。今後もこういった新しい形の企業誘致も進めていきたい。

道路維持管理について

Q 地域の担い手が減少している。草刈り、道路補修なども更なる民間活用を考えるべきではないか。

A 道路維持管理業務について、苦情などの受付から対応まで包括して民間委託することを今後検討していく。

中水野区画整理について

Q 測量の同意はどうだったか。また仮同意に向けて目標はどうか。

A 測量は約90%の地権者から同意を得た。仮同意については、地権者有志の中水野駅周辺まちづくり準備会が、仮同意書の85%取得へ向け、今後活動を開始する予定。

水道事業会計について

Q 収益について将来的にどのように考えているのか。

A 給水の収益は徐々に減少しているが、施設の更新は今後多額な費用が必要となると考える。事業を安定的に継続するためには、施設の長寿命化や統廃合の実施も含めた計画的な更新が必要であり、委託化の検討や水道の有収率向上、収納率向上など経営努力に努めなければならない。その結果、収支が不均衡となり、恒常的な赤字が見込まれる場合は、料金改定の検討に入らなければならないと考える。

(左写真：穴田配水場)

## 市長に対し3件の提言を提出



提言書全文はホームページにてご覧いただけます。  
瀬戸市議会 > 議会活動状況 > 提言書等



### ふるさと納税推進について

ふるさと納税制度における収支不足を解消するには、総務省が示している指針を遵守し、瀬戸市の資源を活かした体験型のメニューを増やすなど、返礼品の充実及び取組み内容の見直しを図り、収支不足を解消されるよう、ふるさと納税推進に努められることを求める。

### 瀬戸サイトの利活用について

瀬戸サイト利活用計画をスピード感をもって具体化を進め、併せてその運営手法を明らかにすること、また計画は、将来にわたるまちづくりのあり方を見据えるとともに瀬戸市の産業発展に資することが可能な案とすることを提言する。

### 老人憩いの家費について

本市の公共施設等総合管理計画に基づく、新たな時代ニーズを捉えた市民の憩いの場を検討するよう提言する。



# 議案審査

Q: 市議の質問  
A: 市の回答

## 第31号議案 瀬戸市空家等の適正管理に関する条例の制定について

- Q** 第6条の立ち入り調査について、どのような場合に立ち入りを許可するのか。また、敷地も対象か。
- A** 空家と思われる建物などにおいて、防犯上・衛生上、必要と思われる場合に立ち入り調査をさせることができる。また、立ち入りには敷地も含んでいる。

## 第32号議案 瀬戸市土地区画整理事業助成条例の制定について

- Q** 今まで助成要綱で行っていたが、条例化した理由と、準備はいつごろから考えていたのか。
- A** 公金支出の明確化を図るための条例化であり、市長の平成31年3月の議会答弁より、今後のまちづくりを考えていく上で条例化を進めてきた。

## 第37号議案 令和元年度瀬戸市一般会計補正予算（第4号）

### ●小中一貫校スクールバスについて

- Q** 通学手段として路線バスを活用すると7月に発表があり、スクールバスなど購入費3,210万8,000円の減額補正となったわけであるが、路線バス活用に決定した理由を伺う。
- A** 地区協議会で示してきたフローチャートに基づき、路線バスの活用が困難な場合はスクールバスを活用するという考え方で進めてきたものであり、運用の持続可能な仕組みと社会インフラの有効的な活用も含めた観点で決定したものである。

### ●陶生病院バスロータリー整備について

- Q** 陶生病院のバスロータリー整備の内容について伺う。
- A** 基幹バス用として2バス、コミュニティバス用として1バス整備を行うもので、バスロータリー完成予想図バス停及び待合ベンチ、風よけの設置、時計、誘導施設などの設置を予定している。



バスロータリー完成予想図

# 9月定例会議案等審議結果

### ◆市長提出議案

議案番号	件名	採決結果
第22号議案	瀬戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第23号議案	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第24号議案	瀬戸市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第25号議案	瀬戸市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第26号議案	瀬戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第27号議案	瀬戸市立にじの丘小学校及び瀬戸市立にじの丘中学校用ICT機器一式の買入れについて	可決(全会一致)
第28号議案	瀬戸市立にじの丘小学校及び瀬戸市立にじの丘中学校用図書スペース家具一式の買入れについて	可決(全会一致)
第29号議案	瀬戸市立にじの丘小学校及び瀬戸市立にじの丘中学校給食室調理機器一式の買入れについて	可決(全会一致)
第30号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(全会一致)
第31号議案	瀬戸市空家等の適正管理に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第32号議案	瀬戸市土地区画整理事業助成条例の制定について	可決(全会一致)
第33号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第34号議案	瀬戸市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	可決(賛成多数)
第35号議案	瀬戸市都市下水路条例の廃止について	可決(全会一致)
第36号議案	瀬戸市水道事業給水条例の一部改正について	可決(全会一致)

第37号議案	令和元年度瀬戸市一般会計補正予算(第4号)	可決(賛成多数)
第38号議案	令和元年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第39号議案	令和元年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第40号議案	瀬戸市自然環境等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第41号議案	令和元年度瀬戸市一般会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
第42号議案	令和元年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
認定第1号	平成30年度瀬戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	平成30年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第3号	平成30年度瀬戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第4号	平成30年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第5号	平成30年度瀬戸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第6号	平成30年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第7号	平成30年度瀬戸市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	認定(賛成多数)
同意第4号	瀬戸市教育長の任命について	同意(賛成多数)
同意第5号	瀬戸市教育委員会委員の任命について	同意(全会一致)
同意第6号	瀬戸市教育委員会委員の任命について	同意(全会一致)
同意第7号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)

## 各議員の議案に対する賛否の状況

上記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

議員名	自民新政クラブ													公明党	瀬戸市議団	日本共産党	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派		
	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	水野良一	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	戸田由久	山田治義	三木雪実	長江公夫	三宅聡	池田信子	長江秀幸	新井亜由美	浅井寿美	原田学	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	臼井淳	藤井篤保	伊藤賢二	
第34号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【○】は賛成(同意)【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。  
なお、長江秀幸議員は議長職のため採決には加わりません。



## 一般質問

市の行政課題などについて15人の議員が考え方や内容を質問しました。  
質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

Q：市議の質問

A：市の回答



自民新政クラブ  
朝井 賢次

### 有形文化財 旧山繁商店の今後について

Q

市民に旧山繁商店の文化的価値を理解し認知していただくためには公開・活用していかなければならず、現状が長引けば事業に対して市民の不信感も高まってくると思うが、本市の見解と保存計画に沿う活用を行った場合の費用の概算を伺う。

A

現状で最低限の維持・補修を行ってきており、全体の公開は困難であるが、様々な形で一部公開を行ってきている状況である。今後も現状でできる範囲の公開を行い、市民理解を深めていきたい。また今後の費用については、現段階では保存・活用に係る具体的な基本計画を策定しておらず算定はしていない。

文化課



日本共産党瀬戸市議団  
原田 学

### 新しい公務員の働き方改革は住民のサービスに応えるものなのか

Q

現在、職員の人事考課がされており、その考課を基に、給料に格差がつけられる制度の導入がされたが、それは全体の奉仕者である公務員が、上司の評価を気にしながら仕事をすることになれば、住民福祉の向上を果たすことにはならないと考えるかどうか。

A

本市の人事考課制度は、職員自ら目標を設定し、職員が具体的にどう達成するかを上司と話し合い、その達成状況を考課に反映する仕組みであり、職員は自ら立てた目標の達成に向けて、自主的に業務を遂行できる制度となっている。

人事課



無会派  
松原 大介

### 庁舎内シビックスクエア（中庭）について

Q

シビックスクエア（中庭）は、各階からの視線の抜け、採光、採風の効果はものごと、1階においては、庁舎エントランスから入ってほぼ正面に位置し、カフェスペース・総合窓口へ接しており出入りも可能な好条件のスペースである。市役所に訪れた市民のために、シビックスクエアの利活用・演出は、本市としても積極的に検討してはと考えるが見解を伺う。

A

利用については、特性を考慮しつつ、市単独での実施にこだわらず、学校や市民団体の活動と結びつけるなどの視点も持ってより良い方法を検討していく。

行政課



無会派  
石神 栄治

### 財政改革について、本市の取組みと今後の方針を伺う

Q

本市は一般財源を補充するために臨時財政対策債を起債している。この公債の元利償還相当額は後年、地方交付税により償還されるが、市が起債した20年返済の赤字公債で累積額は約150億円になっている。この公債は国が返してくれるので問題ないという考えか、それとも累積していくのはよろしくないという考えか。見解を伺う。

A

臨時財政対策債は、後年度に普通交付税の算定に組み込まれるが、償還義務のある市債のひとつであると認識している。この公債を含め市債全体について、計画的に借り入れを行っていく。

財政課



自民新政クラブ  
宮園 伸仁

### LGBT（主体「誰」例えば女性外国人等）の理解と支援について

Q

公共施設や教育現場において様々な対応が必要と考えるが、今後の行政としての取り組みについて見解を伺う

A

公共施設における対応は、ハード整備については徐々に取り組んでいく事になると考えるが、ソフト面、特に意識の壁をなくす観点から、性的マイノリティに関する正しい理解を促し、また性的マイノリティに限らず、市民が多様性を認め合い共生する社会の実現を目指していかなければいけないと考えている。教育現場においては一人ひとりが人権の意義や重要性を理解し、自他の尊厳を認めることができるよう人権教育を推進していく。

まちづくり協働課



無会派  
臼井 淳

### 本山中学校跡地をなぜ転貸借してまで活用するのか

Q

愛陶工に借地料をこれまで通り支払った上で校舎等を無償譲渡としているが、なぜ転貸借してまで跡地活用にこだわるのか。また毎年2,672万円の借地料を愛陶工に支払っているが、平米当たりいくらで、その根拠と累計金額を伺う。

A

活用事業者から賃料収入を得て、所有者である愛陶工へ借地料を支払う予定。解体費用の節減、跡地が未利用のままとなるリスク回避、本市の政策と整合のとれた跡地活用が期待できる。また平米当たり641円、根拠としては、固定資産評価額より算出される固定資産税課税標準額に100分の5を乗じて得た額であり、累計の借地金額は約7億円となる。

政策推進課・教育政策課



自民新政クラブ  
高島 淳

### 8050問題「大人のひきこもり」への支援体制について

Q

80代の親が50代のひきこもりを抱えて生活が困難になってしまう8050問題は近年社会問題となっている。大人のひきこもりについて把握はされているのか、また、どのような対策がされているのか。

A

本市では福祉相談窓口にて相談を受け「ひきこもり」と認識した場合については把握している。対応としては、民生委員、地域の方の「きづき」による支援、福祉総合相談窓口や地域包括支援センターなどの窓口相談を通して社会全体で支援していくことが重要と考え、適切に対応しているところである。

社会福祉課



無会派  
中川 昌也

### 骨髄移植ドナー支援事業及びドナー登録啓発について

Q

骨髄移植ドナー支援事業は、38市中31市が既に実施されており、本市においても早期の実施が必要と考える。併せて骨髄バンク登録への啓発事業と、教育現場での取組みも必要と考えるが、市の見解を伺う。

A

骨髄移植ドナー支援事業の実施については、他市の事業内容や実績などを踏まえて検討を行っている。骨髄バンク登録への啓発は、更なる取組みの必要性があると認識しており、献血事業などで啓発していく。また、教育現場においては、小中学校の道徳の中で触れていく。

健康課・学校教育課





公明党瀬戸市議団  
池田 信子

### 公用車ドライブレコーダー設置について

**Q** 近年の事故件数や社会状況を鑑み、早期に全ての公用車へのドライブレコーダーの設置を実施していくべきではないか。その費用対効果をどう分析するのか。

**A** ドライブレコーダー導入効果としては、導入済みの事業者などのデータによると、事故状況について客観的な事実が把握でき、迅速かつ正確に事故処理を行うことができ、運転者の安全意識の向上に繋がるなどが期待されると考える。そうした効果を踏まえ、共用車・業務用車も含めた全公用車に対する設置基準や運用に関する要綱なども含め、設置スケジュールについても検討していく。

財政課



自民新政クラブ  
柴田 利勝

### やきもの振興について

**Q** 市内の事業者と話をする機会が多くあり、その人たちの話からすると、例えば本市のやきもの振興に関する支援が他のやきもの産地と比べ弱いという印象である。市としての見解を伺う。

**A** 他のやきもの産地と比較して大きな差はないと認識している。本市はやきもの振興に特化した組織体制に加え、せとまちツクリテセンターや産業支援センターせとに配置した専属コーディネーターによる相談窓口など人的支援が他市より充実しており、ツクリテや事業者などのニーズに応じたきめ細かい支援を行っている。

ものづくり商業振興課



日本共産党瀬戸市議団  
新井 亜由美

### 県内で5番目に高い介護保険料と介護サービス利用料の負担軽減を

**Q** 瀬戸市の1号被保険者(65歳以上)の約6割が非課税で、滞納者に占める非課税の方の割合は半分以上である。保険料は何とか払えても利用料が払えず、必要な介護サービスを断っている実態がある。経済的な負担が困難でも必要な介護サービスが受けられるよう、独自の負担軽減を実施している市町村もある。低所得の方も介護の必要度に合せて、安心してサービスの利用ができるよう、保険料と利用料の負担軽減を行うべき。

**A** 利用者がどれくらい負担できるかに合わせてプランを立てていることから、本市独自の負担軽減を実施する予定はない。

高齢者福祉課



無会派  
馬嶋 みゆき

### 大規模地震災害対策について

**Q** 本市では様々な事業者と災害協定を結んでいるが要請手順や内容、役割を協定先や団体加盟業者などに十分に理解していただけているか、また協力先や内容についての変更など協定内容が確実に機能するよう定期的な確認を行っているか伺う。

**A** 協定に基づく要請手順や内容、役割などについては、協定締結時において十分に理解していただいているものと認識している。また、協定先や協定内容の定期的な確認については、現在一部のみとなっているので、今後はすべての協定締結先に対して定期的な確認を行う。

危機管理課



自民新政クラブ  
山田 治義

### 広域交通網形成について

**Q** 外環状道路網の形成については、本市の将来を見据えた計画でありながら、長い間未着手のままである。企業誘致や定住化の促進を図る上で、最も必要な道路であり早期実現に向け国・県など関係機関に対しより積極的な働きかけが必要ではないか。

**A** 今後の外環状道路網の形成に関し、未着手区間については平成30年8月に愛知県が公表した「都市計画道路見直し方針」に基づき、見直しを進めていく。早期に事業効果が発揮されるなど、優先度の高い区間については、早期事業化に向け、愛知県をはじめとした関係機関に働きかけを行っている。

都市計画課



公明党瀬戸市議団  
三宅 聡

### 充電機の分別不徹底による火災について

**Q** 平成29年度12件、平成30年度44件、これは晴丘センターでの火災発生数である。今年度は4月～7月の4ヶ月で31件である。この非常事態、出火原因は本来充電機類として分別されるべき充電機が不燃ごみとして回収され破砕施設の中で発火するためである。本市における充電機分別対策を伺う。

**A** 充電機をごみで出さないよう市ホームページや広報せとによる注意喚起を行っている。8月15日号でも記事を掲載した。不燃ごみの予約時に充電機の有無の確認をし、収集時にも目視確認を徹底し、火災の未然防止対策を行っている。

環境課



日本共産党瀬戸市議団  
浅井 寿美

### 就学援助・入学準備金等の増額分支給のためただちに増額補正を

**Q** 「制服の購入など一番必要な時に支給して欲しい」と求めていた就学援助の入学準備金が、本市でも入学後の5月支給から、いよいよ今回入学前の2月末支給となった。文科省は更に今年度から、入学準備金の額を小中学校とも1万円ずつ引き上げ、卒業アルバム代の支給も決定した。近隣自治体の多くが年度内に補正予算を組み、今年度の追加分支給と、年度末支給の入学準備金の増額を決めている。本市も速やかに就学援助増額分を年度内に支給すべきではないか。

**A** 来年度の新入学児童数や財政状況、近隣市町の動向など総合的な視点から検討していく。

学校教育課

## 議員研修会を行いました

議員研修 「政策法務研修」

去る9月26日に明治大学政治経済学部牛山久仁彦教授をお招きし、条例立案のための政策法務能力を取得するため「瀬戸市議会による自治立法の意義」と題した研修会を開催しました。

牛山先生より議員立法に関する基礎的知識の講義を受けたあと、具体的な条例立案演習では、総務生活委員会が現在「自転車条例」を調査研究するチームがプレゼンを行いました。その後、全議員が5つのグループに分かれ「条例の必要性」や「予算を伴う条例を議員が提出できるか」また住民に「義務」や「規制」をかけることについてなど、具体的な条例策定に向け、活発な意見交換を行いました。条例はその自治体の課題を解決するためのものであり、様々な側面で意義があります。また策定においては法令との整合や市民への影響を考え、十分な検討がなされるべきものであると強く感じました。今回の研修を活かし、課題を議会が政策に変えて応えていこう、今後も取り組んでまいりたいと思います。



研修の様子



## 広聴部会ニュース vol.2

### せとまちトーク 開催のお知らせ (市民と議会の意見交換会)

せとまちトークとは、より良いまちづくりを実現するため、議員が地域の皆さんの声を聴くことを目的とした語り場です。「伝える、伝わる、叶う」を合言葉に、熱く語っちゃいます！とことん語りに来ていただくもよし！雰囲気を感じるために来ていただくもよし！開催スケジュールは以下のとおりです。事前申し込みは必要ありませんので、ぜひお気軽にお越しください。



開催日程	場 所	対象学区
11月 1日(金)	效範公民館	南山中学校区
11月 1日(金)	幡山公民館	幡山中学校区
11月 1日(金)	西陵地域交流センター	水野中学校区
11月 5日(火)	古瀬戸公民館	祖東中学校区
11月 5日(火)	萩山公民館	光陵中学校区
11月 12日(火)	道泉地域交流センター	本山中学校区
11月 12日(火)	長根公民館	水無瀬中学校区
11月 21日(木)	品野台地域交流センター	品野中学校区

※時間はいずれも午後7時から午後8時30分までです。

### 委員会の取り組み状況について

本年5月から9月までに、各委員会が取り組んだ活動の内容を報告します！

#### 総務生活委員会

##### 自転車の安全利用促進について

昨年の瀬戸市内の自転車による交通事故の急増を受け、事故発生の状況や瀬戸市の現状を調査し、瀬戸市におけるルールとなる条例の制定も見据えて、研究しています。

これまでに、瀬戸警察署や自転車の販売業者、高校へのヒヤリングを行いました。

その中で、子どもたちや高齢者の方々を始めとした各家庭での交通安全教育やヘルメット着用、保険加入の義務化なども視野に入れながら、議論を深めています。

近年高齢者の事故が増えている

保険加入について一般利用者にまでは浸透していない



瀬戸警察署内での意見交換



自転車事業者との意見交換

#### 厚生文教委員会

##### 小中一貫校「京都市立東山開晴館」を視察

7月11日(木)「バスを含む通学と教育カリキュラムについて」をテーマに京都市立開晴館を視察しました。開晴館は、にじの丘学園と同様に5小学校と2中学校を統合し、平成23年に開校した市立の小中一貫校です。「澄みゆく心、かがやく志の育成」を最高教育理念に掲げ、9年間の一貫した学びを実現するための授業づくりをしています。また、学校評価計画をもとに学校運営の検証と改善に取り組んでいました。通学課題に関しては、にじの丘学園と同様に路線バスを活用して対応しており、開校前と開校後のあり方について参考になる点が多々あり、大変有意義な視察となりました。



開晴館での視察

##### にじの丘学園建設現場視察

来年4月の開校に向けてにじの丘学園校舎の建設の進捗状況視察を8月8日に行いました。まだ足場が組んである現場状況の中、普通教室の完成モデルを確認することができ、全体の雰囲気を感じることができました。建設関係者からの聞き取りにより、建設工事が順調に進んでいることを確認しました。



にじの丘学園の現地視察

#### 都市活力委員会

##### 地域の公共交通会議を傍聴

都市活力委員会の調査研究課題は、「コミュニティバスを含む地域公共交通」、「菱野団地や中心市街地などの地域再生」です。

地域公共交通について、今回委員を3つのグループに分担して、地域力推進会議の公共交通グループを設けている地域へ出向き、勉強会やワークショップの様子を傍聴させていただきました。一番身近で関わっている市民のみなさんの考え方を、具体的に知る機会となり、大変貴重な時間でした。

今後も、地域の身近な現場へ出向いて、委員全員で課題解決に取り組んでいきたいと思っております。



品野台公共交通グループ会議を傍聴



市内のコミュニティバス

##### 尾張旭市「あさび一号」を行政視察

10月4日(金)に、尾張旭市のコミュニティバス「あさび一号」の運行について、視察を行いました。尾張旭では東西の2ルートを右周り、左周りで周回し、1日あたり平日7便、休日5便で運行していました。回数券や定期券もあり、利用者は年間23万人超とのことです。近隣市の運用について改めて知り、理解することができました。



尾張旭市視察の様子

# 議会だよりの表紙を飾りませんか？

議会だよりでは、皆さんから表紙写真を募集しています。ご自身やご家族が撮影された写真で、議会だよりの表紙を飾ってみませんか？瀬戸の新たな魅力が伝わるような写真を、ぜひご応募ください。

応募方法や注意事項については、瀬戸市議会ホームページから応募要領をご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。たくさんのご応募をお待ちしております！

## 12月定例会開催予定

- 11月29日(金) 本会議(開会・議案上程・説明)
- 12月4日(水) 本会議(一般質問)
- 12月5日(木) 本会議(一般質問)
- 12月6日(金) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)  
終了後 予算決算委員会
- 12月9日(月) 総務生活委員会  
終了後 予算決算委員会 総務生活分科会
- 12月10日(火) 厚生文教委員会  
終了後 予算決算委員会 厚生文教分科会
- 12月11日(水) 都市活力委員会  
終了後 予算決算委員会 都市活力分科会
- 12月13日(金) 予算決算委員会  
終了後 議会運営委員会
- 12月17日(火) 議会運営委員会
- 12月18日(水) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合がありますのでご確認ください。

※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。

※請願・陳情の提出締切日は、11月18日(月)の午後5時です。

## 瀬戸市議会の情報番組のお知らせ

瀬戸市議会では、以下の番組において議会情報をお知らせしております。

### ◇グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは！瀬戸市議会です。」

(地上デジタル121ch)

12月定例会放送予定

1月13日(月・祝)から1月19日(日)まで

放送時間

(7:25～、9:25～、12:25～、18:25～、20:25～、22:25～、土・日のみ7:25→14:25となります。)

「12月定例会 一般質問録画放送」

※詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。

### ◇RADIO SANQ

「せとまちラジオ」(FM84.5MHz)

12月定例会放送予定

11月26日(火)・12月24日(火)

放送時間(9:20～、12:00～18:00～)



せとまちラジオの収録風景

編集  
後記

今年は瀬戸市制90周年にあたります。そこで、今年度の議会だよりは、少しでも昔の瀬戸市の様子や風景などと、今の私たちのまちとを比べて見ていただこうと、編集者一同、考えております。

そこで今回は、昭和8年当時の議員の皆さんと、9月定例会で「いいもんせともん議会」として法被姿で議場に集う現在の議員26名の写真を掲載しました。瀬戸市議会や90周年の瀬戸市について、少しでも関心を持っていただければ幸いに思います。

議会だより編集作業部会一同

議会だよりに関するご意見などについては、下記の問い合わせ先までお寄せください。

問い合わせ先 議会事務局 議事課 ☎ 88・2740 E-mail : giji@city.seto.lg.jp